

オープンソース・3Dプリンタを活用した義手開発

実施日：平成28年11月27日～12月4日 於：オーストリア，ポーランド

■ 派遣専門家



近藤玄大

特定非営利活動法人Mission ARM Japan カタリスト

2011年東京大学工学系研究科修士課程修了。在学中に、筋電義手をはじめとするブレイン・マシン・インターフェイスとサイバネティクスを研究。卒業後、ソニー株式会社に入社し、2014年にイクシー株式会社を設立。筋電義手「handiii」「HACKberry」やオープンソースプロジェクトを展開。2016年に代表を退き、現在は特定非営利活動法人Mission ARM Japanで義手の開発と普及に取り組まれています。

■ 事業概要

● オーストリア（インスブルック，クラゲンフルト）



インスブルック大学での講演



レークサイド・サイエンス&テクノロジーパークでの講演



Ottobock 社のJanos Kalmar 氏とパネルディスカッション

● ポーランド（ワルシャワ，ポズナン）



ワルシャワ工科大学での講演会



MEDmeetsTECH国際会議での講演会



ポズナン・デザイン大学での講演会

■ 実施結果

オーストリア，ポーランドの2カ国で，オープンソース・3Dプリンタを活用した義手開発についての講演を行いました。オーストリアでは，インスブルックとクラゲンフルト，ポーランドではワルシャワとポズナンの2都市を訪れ，大学や医療関係者の国際会議での講演会を実施。複数のプレス取材の対応を行い，オーストリア地元紙チロル新聞等で紹介がされました。各地で義手制作企業や，大学関係者，既にHACKberryのオープンソースで義手制作を進めていたエンジニア，スタートアップ企業関係者，障害の当事者の方々等と，各地における技術・研究・ビジネス展開の状況，傾向等についての意見交換等も行いました。日本の技術とものづくりに対する理解の深化につながったとの評価を得て，多くの具体的な協業につながる事業となりました。